

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業		事務事業名 公営住宅改善に要する経費（高齢者・障害者施策事業）	
区分	番号	名称	
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	
施策	2	良好な居住空間づくり	
小分類	3	快適な公営住宅の供給	
主要な施策	1	公営住宅の計画的な改修整備	
事務事業番号	012	事務事業コード	42231012
		事業開始年度	平成 1 6 年度
		事業終了年度	平成 2 2 年度
会計種別	一般会計		予算書上の事務事業名
			市営住宅改善経費（高齢者・身体障がい者施策）
部 名	都市整備部	グループ名	建築住宅 G
統合前または名称変更前の事業名			

事務事業の目的と成果	
目的	（事務事業の実施目的を具体的に記載してください） 市営住宅に居住する高齢者や身体に障がいを持つ方が安全で快適な暮らしをおくることができるようにするため。
手段（事業の内容・活動）	（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください） 住生活において不便や不安を解消する住宅の改善を行う。 住戸内の段差解消 玄関、トイレ、浴室の手摺取付 和式から洋式への便器交換 中層住宅の共用階段の手摺取付
成果	（事務事業の実施成果を具体的に記載してください） 高齢者や身体に障がいを持つ方の日常生活において、安全性、利便性、快適性の向上を図ることができた。
根拠法令等	（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください） 公営住宅法

指標の推移		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	住宅改善件数	戸	目標値	9				
			実績値	4				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	326					0
合 計			326	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	53	0			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		53	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
		妥当ではない	
高年齢者や身体に障がいを持つ方が安心して暮らすための事業であり、市が整備すべき事業である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
		どちらかといえばあがっている	
		成果があがらない	
4階建住宅への共用階段手摺はすべて設置が完了した。高年齢者や障がい者の方々が共用階段を安全に安心して昇降できる。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる	→ どのようにして向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？
		少し向上させることができる	
		向上させることはできない	
事業を継続的に行うことで高年齢者や障がい者の安全性・利便性・快適性を図ることができる。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる	→ どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？
		削減できない	
工事の方法や使用する資材の選定において、十分な検討を行いコスト削減に努めている。			

担当グループによる評価

終了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	本事業は、高年齢者や身体に障がいを持つ方が日常生活において、安心して暮らすための事業である。事業期間内で共用階段の手摺はすべて設置が完了し、各住戸内のトイレ、浴室の手摺りも相当数設置が完了した。さらに昨年度実績からも件数はかなり減少しているため、今後は事業としては終了し、維持管理経費内で対応することとしたい。
----	----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）